

4. 観光

	タイトル	意見等
1	阿波踊りについて	阿波踊りを世界的に広めるために阿波踊りの技を競う国際大会を開催すると良いと思います。世界大会に参加するために参加希望チームがどのように練習し苦しみあり笑いありの道のりを辿ったかYouTubeなどで流してドキュメントとして放映します。世界に認知されて全国から参加者を募集しアスティとくしまで全国大会を開催します。それから世界大会を徳島で開くと面白いと思います。
2	徳島県の観光振興について	○後藤田正純徳島県知事が阿波とくしま観光大使のケント・モリ氏を通じて、阿波踊りを「世界の踊り」、「世界の祭り」、「世界のカーニバル」にしなければならない。 ※ 阿波踊りを「徳島のリオデジャネイロのカーニバル」にする。
3	徳島空港からお出かけ！徳島空港利用促進事業について	○後藤田正純徳島県知事が「羽田空港乗り継ぎ割引運賃制度」を活用して、徳島空港と日本全国の各地の空港との双方向による関係交流人口の拡大を行わなければならない。 ⇒具体的には、徳島市と帯広市との産業文化姉妹都市の交流、那賀町と釧路市との友好都市の交流、藍住町と山形県河北町との阿波藍と山形最上紅花を通じての友好都市の交流 ※ 徳島空港利用促進協議会発行の徳島空港6月時刻表参考 ※ 対象路線は、徳島⇄札幌新千歳、徳島⇄稚内、徳島⇄オホーツク紋別、徳島⇄根室中標津、徳島⇄とちぎ帯広、徳島⇄旭川、徳島⇄釧路、徳島⇄網走女満別、徳島⇄釧路、徳島⇄函館、徳島⇄青森、徳島⇄三沢、徳島⇄秋田、徳島⇄大館能代、徳島⇄山形(阿波踊りと山形花笠踊りとの交流)、徳島⇄庄内、徳島⇄富山(阿波踊りと越中八尾のおわら風の盆踊りとの交流)、徳島⇄金沢小松、徳島⇄能登など
4	宿泊施設誘致促進事業について	○後藤田正純徳島県知事は宿泊施設誘致促進事業においては、徳島県にマリオネット・インターナショナルホテル(ザ・リッツ・カールトンホテルを含む)、ヒルトンホテル、インターコンチネンタルホテルなどの四つ星以上の国際高級ホテルを誘致開業させなければならない。
5	宿泊施設誘致促進事業について	○後藤田正純徳島県知事は、徳島県に「帝国ホテル」、「ホテルニューオオタニ」、「ホテルオークラ」を誘致開業させなければならない。 ○後藤田正純徳島県知事は、「アオアヲ ナルト リゾート」を、以前の「ルネッサンス・リゾート・ナルト」に戻さなければならない。 ※ 「ルネッサンス・リゾート・オキナワ」の例⇒「マリオネット・インターナショナルホテル系」
6	徳島空港からお出かけ！徳島空港利用促進事業について	○後藤田正純徳島県知事が「徳島空港からお出かけ！徳島空港利用促進事業」で、エアトラベル徳島に補助金を出して航空会社の国内チャーター航空機を利用して、双方向性による国内線チャーター便を推進しなければならない。 ⇒Local←To→Local ※ 具体的には、徳島⇄仙台の国内線チャーター便、徳島⇄信州まつもの国内線チャーター便(上高地)、徳島⇄沖縄那覇の国内線チャーター便など ※ 6月26日には、フジトリムエアラインズが徳島空港からいわて花巻空港(花巻温泉)に国内線チャーター便が就航します。
7	とくしま文化観光について	○鳴門市鳴門町の大塚国際美術館での「世界の名画鑑賞」のアート・ツーリズムの文化観光 ○鳴門市大麻町板東の板東捕虜収容所を舞台にした「バルトの楽園」のシネマ・ツーリズムの文化観光 ○鳴門市大麻町大谷の国指定伝統的工芸品である「大谷焼体験」のpottetyの文化観光
8	とくしま文化観光について	○鳴門市鳴門町高島の国指定重要文化財の塩田屋敷の歴史・ツーリズムの文化観光 ※鳴門市は、江戸時代初期から揚浜式塩田⇒入浜式塩田⇒流下式塩田⇒イオン交換膜製塩法(鳴門塩業)による「撫養塩」の塩づくりが盛んである。 ※鳴門市は、瀬戸内沿岸の十カ国の十州塩田(阿波・讃岐・伊予・播磨・備前・備中・備後・安芸・周防・長門)の一つ
9	徳島「まるごとパビリオン」のHPの写真について	徳島「まるごとパビリオン」のHPみました。「鳴門のニュークラシック」の上にある渦潮の写真についての疑問があります。徳島の船ではなく、淡路島の船と渦潮の写真を選んだのは何故ですか？淡路島の船のルートはご存じですか？あの船は淡路島の福良港から出航して渦潮をみて福良港に戻ります。徳島には寄港しません。
10	宿泊施設投資促進事業について	○後藤田正純徳島県知事は「宿泊施設投資促進事業」で徳島県に「OMO徳島by星野リゾート」を開業しなければならない。 ※ 令和6年6月13日に四国初進出となる「OMO7高知by星野リゾート」(高知市九反田9-15)がグランドオープンします。

4. 観光

	タイトル	意見等
11	国際定期便の誘致に向けて	<p>○7月18日から高松=ソウル仁川線において、エアソウル(アジアナ航空の子会社)並びにジンエア-(大韓航空の子会社)の二社ダブルトラッキング化による運航体制が開始になりますので、徳島=ソウル仁川線の国際定期便の就航はほとんど不可能になりました。</p> <p>⇒高松=ソウル仁川線は毎日二往復の運航になります。ジンエア-は高松空港発が11時 エアソウルは高松空港発が11時40分</p> <p>⇒エアソウル並びにジンエア-も徳島県からの利用を見越して、高松=ソウル仁川線に運航(エアソウル)又は運航を開始します。(ジンエア-)</p> <p>※ エアトラベル徳島本社とHIS徳島支店が高松=ソウル仁川線のダブルトラッキング化の運航開始に合わせて、韓国ツアーの募集を始めました。</p> <p>※ エアトラベル徳島本社の海外旅行担当者からは、韓国のLCC格安航空会社のチエジユ航空、エアプサン、イースター航空による徳島=ソウル仁川線の国際定期便の就航もないと言っていました。⇒徳島=ソウル仁川線では搭乗率が80%を超えることはないとの見解です。</p>
12	あすたむらんど吉野川めぐり対応について	<p>吉野川めぐりが4月春休み以降止まったままです。</p> <p>当初はメンテナンスのため当面の間、その後5月末頃まで運休とされていました。</p> <p>こんなに長期間になるならメンテナンスではなく故障でないのか問うたところ「メンテナンス」から「故障」と書き換えられていました。</p> <p>昨日もあすたむらんどに行きましたが再開の動きは見えず残念でした。</p> <p>そもそものところ、これだけ長期間に渡るほどの故障とは？</p> <p>今の指定管理者になって十数年、定期的にメンテナンスしていればこうはなっていないのではないのか。</p> <p>メンテナンスを怠っていたのではないのか。</p> <p>こうまでなるまで故障に気付けなかったのか。</p> <p>点検を怠っていないのか。</p> <p>故障のある状態で春休みまで運行していたのであれば事故が起こっていてもおかしくないのではないのか。</p> <p>指摘されてはじめて故障と出したのは隠蔽しようとしたのではないのか。</p> <p>長年同じ会社が指定管理を続けてきたことで落ち度がでているのではないのか。</p> <p>仕事の杜撰さが浮き彫りになっているように思えます。</p> <p>そもそも管理を任せて間違いない会社なのか。</p> <p>改めて見直す必要があるのではないのでしょうか。</p>